



岡本 和夫 (OKAMOTO Kazuo)

東京大学名誉教授

独立行政法人 大学評価・学位授与機構 理事

東京大学理学部卒業、
同大学院理学系研究科修士課程修了。
理学博士。

東京大学理学部助手、一橋大学助教授、東京大学教養学部助教授、同教授を経て 2012 年から現職。1998 年から 2001 年まで大学院数理科学研究科長、2002 年から 2012 年まで大学総合教育研究センター長。

数学、特に可積分系の理論が専門で、数学や物理学に現れる特殊関数を研究。主に非線型微分方程式であるパンルヴェ方程式やガルニエ系の研究が専門分野で、これまでの仕事は著書『パンルヴェ方程式』(2009 年、岩波書店)にまとめた。20 年来高等学校や中学校の数学教科書の編集・執筆に関わり、代表著者を務めている。

研究論文の他、上述の著書に加えて、『解析演習』(共著、東京大学出版会)、『微分積分読本』(朝倉書店)、『微分積分』(実教出版)、『行列と 1 次変換』(実教出版)、『数学者は城の中?』(共著、日本評論社)『初歩からの数学』(共著、財団法人放送大学教育振興会)、『数学 理性の音楽』(共著、東京大学出版会)、など。また、東アジア数学史研究会代表として『関流和算書大成』(全 11 巻、勉誠出版)を編集。

日本学術会議会員、社団法人日本数学会理事長、財団法人東京大学出版会理事長などを歴任。現在は日本学術会議連携会員、財団法人東京大学出版会理事、財団法人日仏会館理事などを兼務している。